

実験用海事衛星通信システム (MARSK-X システム)

海事衛星通信の有用性について、KDD 研究所は早くから着目し研究を行ってきた。1974 年（昭和 49）には、国際海事衛星通信サービスの実用化に先立ち、解決すべき技術的問題点などを明らかにし、かつ最適システムの設計に必要な諸データを得ることを目的に、実験用海事衛星通信システム(MARSK-X システム:Maritime Satellite Communications Equipment of KDD-Experimental System)を開発した。

このシステムは、電話、テレックス、ファクシミリなどの通信品質評価や装置各部の特性測定などの実験ができるように構成され、システムを通して得られた種々の検討結果やデータは、国際学会や国際無線諮問委員会（CCIR）で発表され、海事衛星通信分野における先駆的役割を果たした。

出典：KDD 社史